

日本医学会だより

JAMS News

2002年5月 No.27

日本医学会

〒119 8531 東京都文京区本郷3-28-16

日本医師会館内 TEL 03-3846-2131(代)

第69回日本医学会定例評議員会

第69回評議員会が平成14年2月26日に開催され、冒頭、森医学会長は挨拶の後、次のように付言した。「日本医学会は、諸方面の方々から信頼される1つの団体でありたいと常々考えてきた。世の中は、信頼関係の上に成り立っていると思われるが、最近、信用できるものが減少してきたようである。その中で、日本医学会は社会から信用されたいと願い、その路線で歩んできた。

そのひとつひとつは小さなことであるが、若下の災いがある。たとえば原爆の被害に関する問題について、被爆者の方々の思い入れ、政治的判断もさることながら、被爆者援護あるいは被爆地域指定の拡大などについては純粋に学問的に解決したいとして、厚生労働省から検討を依頼された。委員会では結局、学問的立場から放射能障害は今日ともなれば見られないものの、精神的影響は残っていると答申した。

また訴訟に関連して、公正中立の立場にたつべき鑑定人を選ぶにあたり、裁判所から日本医学会にその世話をしよう依頼があった。

こうして次第に、日本医学会は以前よりもさらに、「信ずるに足る団体」になりつつある。これも分科会の皆様方のご努力の賜物と感謝する」

第26回日本医学会総会

第26回日本医学会総会（会頭：杉岡洋一九州労災病院長/前九州大学総長、会期：2003年4月4日～6日、福岡）は、「人間科学—日本から世界へ—21世紀を拓く医学と医療—信頼と豊

かさ求めて—」をメインテーマに掲げ、準備進行中である。

杉岡会頭は第69回日本医学会定例評議員会の席上で、次のように挨拶した。「21世紀最初の総会として、実りあるものになりたい。昨今、科学技術の進歩が余りにも速く、特に生命科学が非常に発展しているが、その功罪を十分に判断する時間的余裕もない程である。知性と感性を備えた人間全体をとらえる医学・医療の原点をもう一度見直す必要がある。科学技術の進歩の陰で失ったもの、また失いつつあるものに心をいたしたい」

記念講演として、上田閑照京都大学名誉教授に「人間としての生と死」を、また、閉会講演として、松井孝典東京大学教授に「地球と人類の未来……宇宙に生命は満ちあふれているか……」を、そして会頭講演として「21世紀を拓く医学と医療」が予定されている。

<http://www.isonkai.com/>のホームページが開設された。

日本医学会100周年記念式典 ならびにシンポジウム

平成14年6月6日(木、13:30～18:25)、日本医師会館において「日本医学会100周年記念式典ならびにシンポジウム」が開催される。

参加希望者は、日本医学会に郵便はがきで申し込まれる（参加費無料）。

プログラムの概要は下記のとおり、式典（19:30～21:30）

挨拶：森 亘（日本医学会長）

祝辞：坪井栄孝（日本医師会長）

基調講演：新しい医師・患者関係/村上陽一郎（国際基督教大学大学院教授）

シンポジウム（14：40～18：25）

1. これからの基礎医学/中西重忠（京都大学医学部・生体情報学）
2. 環境と人類の健康—自然と人工のバランスを考える—/鈴木正亮（群馬産業保健推進センター・所長・公衆衛生学）
3. 臨床医学の将来—科学に基づいた医療—/高久史磨（自治医科大学学長・内科学）
4. 21世紀の再生医療—現状と展望—/井上一知（京都大学再生医科学研究所・再生医学）
5. 成育医療の現状と展望/柳澤正義（国立成育医療センター病院院長・小児科学）
6. 社会と精神医学/松下正明（都立松沢病院院長・精神医学）
7. 生殖医療と生命倫理—医学の進歩と社会の要請—/古村泰典（慶應義塾大学医学部・産婦人科学）

第121回日本医学会シンポジウム

標記シンポジウムは、「プリオン病」を標題として、平成14年8月30日（金）～9月1日（日）にパレスホテル箱根にて開催の予定。プログラムは下記のとおり（参加者は招待者に限られている）。

I. プリオン病の臨床と病理

1. プリオン病の臨床/水澤英洋（医科歯科大・脳神経機能病態学）
2. 病原性CJDと変異型CJD/佐藤 猛（国立精神・神経センター国府台病院（名誉院長））
3. プリオン病の画像診断/湯浅龍彦（国立精神・神経センター国府台病院・神経内科学）
4. プリオン病の病理—変異型Creutzfeldt-Jakob病を含めて—/天野直二（信州大・精神医学）

午後の部（13：00～17：20）

II. プリオン蛋白の代謝と異常プリオン複製

1. 正常プリオン蛋白の機能/小野寺 節（東大（農）・応用免疫学）
2. プリオン蛋白の構造と病原性、村本 環（東北大・病態神経学）
3. プリオン類似分子 Doppel /片峰 茂（長崎大院・感染分子解析学）
4. 新しいプリオン関連因子/八谷如美（国立精神・神経センター・疾病）

III. プリオン病の治療・予防法

1. 防御型プリオンと抗体療法/金子清俊（国立精神・神経センター・疾病）
2. 薬物療法の臨床応用/山田達夫（福岡大・内科）

IV. プリオン研究における新展開

1. ヒト・プリオンのバイオアッセイシステム/毛利資郎（九大院・動物実験学）
2. PrP^{Sc}特異抗体の開発/品川森一（帯広畜産大・獣医公衆衛生学）

日本医学会への加盟申請

平成14年度の新規加盟申請に関する公示は、5月15日に行い、7月31日に締め切る。申請書は、日本医学会あて請求されたい。

医学賞・医学研究助成費

平成14年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を5月上旬に行う。詳細は、本会にお問い合わせされたい。それぞれの要項は以下のとおり。

医学賞：1. 日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげたものに授与する。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与する（副賞は1名500万円）。

医学研究助成費：1. 日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているものに授与する。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ15件に授与する（1件150万円）。